

- 中核市移行 20 周年を契機として地方分権を更に推進するために、内閣府の研修講師派遣を活用。
- 内閣府のアドバイスを踏まえ、分権においても住民参加を進め、住民意識の向上や分権改革の底上げを図るために住民を交えたワークショップを開催することとした。
- H29 年度はワークショップを 2 回開催。各回とも市民 10 名以上を含む 60 名以上の参加があり、住民から貴重な意見をいただいた。
- H30 年度も、ワークショップを開催予定。「住民参加による地域課題解決」を大きなテーマに掲げ、住民の参加を増やして分権改革の底上げを図っていきたい。



施策分野別意見交換

29 年提案募集の主要テーマである「地方創生・まちづくり」「災害からの安全・安心」について、先ず、内閣府の担当職員から主な提案事例等について説明した後、各自治体の取組状況や今後に向けた課題など、ざくばらんな意見交換を行いました。



ファシリテーションを学ぼう (富士通(株)有馬氏、椿氏)

前回旗手会議で要望のあった「ファシリテーション研修」について、自治体や企業等への支援実績がある外部講師を招き、体験型の講座を初めて実施しました。

汎用的なファシリテーションの手順（場を温める→共有する→引き出す→まとめる）とこれに必要な基本スキルに関する説明、模擬演習を通して班内でコミュニケーションを取りながら、ファシリテーション技術の必要性を楽しく学んでいただきました。

【講義】



【演習】





【発表】



【講評】



閉会挨拶（内閣府地方分権改革推進室 加瀬次長）

- 本日の活発な議論お疲れ様でした。
- 今回発表いただいた埼玉県や郡山市の取組事例を参考に、提案検討の際に住民の声を把握するための工夫をこらし、提案の質を高めるような取組を広めてもらいたい。
- 分権室としても、旗手と連携し、各自治体の提案検討を積極的に支援してまいります。

